

田園風景に突如現れ、おもわず惹かれる「手造りとうふ」ののぼり。三原市本郷町船木にある溪水庵の目印。

特集

# みはらっせどら

- やっこ豆腐
- 滝川とうふ
- 心づくし
- きぬ豆腐
- 石とうふ
- 禅どうふ
- 栄養とうふ
- もめん豆腐
- 塩豆腐
- ごま豆腐



愛されるにはワケがある  
みはらっせ豆腐を  
いただきます

「もめん」に「きぬ」、「おぼろ」...

さっぱりヘルシーな豆腐は種類も食へ方も豊富で

栄養価にすぐれた伝統食品

使う材料がシンプルな豆腐は

素材や作り方はもちろん、その土地の水、

作り手の経験によっても

微妙に味が異なります。

みはらっせエリアには地元の人に

愛され続ける美味しい

豆腐がたくさんあります。

これからの暑い季節、

大豆の風味と香りが

「一番楽しめる」冷やっこで

みはらっせ豆腐を

食べ比べてみてはいかが？

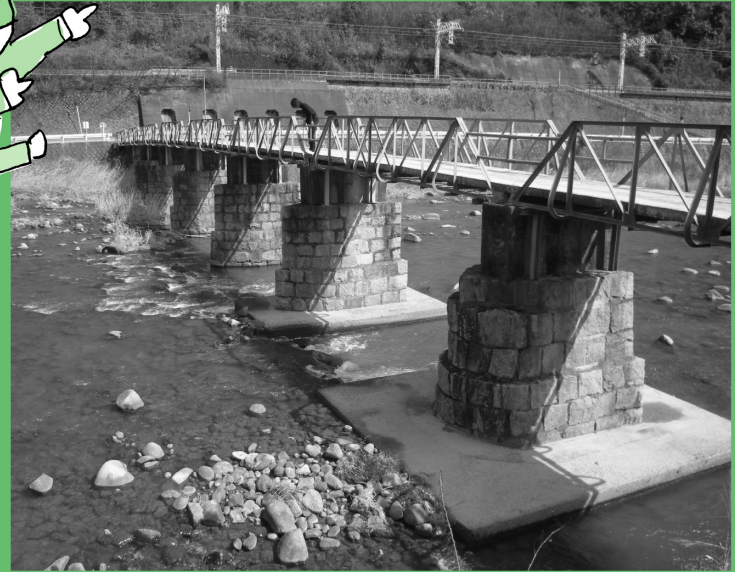
みはらっせの

## コレナンダー その10



コレナンダー

「コレナンダー」はみはらっせエリアで発見した、読者のみなさんの「これ何だ？」に編集室がお応えしていくコーナーです。



沼田川に架かる下畑橋。全長65mの橋桁に7つの石積橋脚が美しい。ブルーの欄干が鮮やかだ。近くには、名勝瀑雪の滝がある。[マップP8-B]

沼田川水系のかくれ土木遺産「下畑橋」  
本郷船木のとんがり橋脚

**Q** 開通したフライトロードを下から撮影しようとして、ひとつ下流に架かる下畑橋からのアングルを狙いました。よく見ると橋脚の石積が尖っているのです。これってどういうことでしょうか？

(みはらっせ特派員・出路亀之介・43歳)

**A** 出路さん、あなたはスゴイ！素晴らしい発見です。よくあの石積橋脚に気づいてくれましたね。実は編集室でも以前より、気になっていた物件でした。日本の空港大橋のお膝下三原市本郷町船木にある下畑橋は、沼田川に架かる石積の橋脚が残る橋です。ご指摘の尖った石積は、「水切り」と言って水の抵抗をやわらげるものです。最近では珍しくなりましたが昔ながらの橋梁工法です。たぶん、沼田川の大洪水の際も耐えられるように作られたものと思われれます。特筆すべきはその意匠にあります。流れるような石積の紡錘形は、日本三大名橋として名高い岩国の錦帯橋と同じデザイン。とても美しいのです。三段式の橋脚も重厚で見事です。下畑橋はまさにみはらっせの土木遺産と言って過言ではありません。竣工は昭和25年。もう60年以上も沼田川を見つめてきた生き証人です。彼の目に空港大橋はどう映っているのでしょうか？

(編集室・みはらっせ土木遺産研究会 石賀大輔)



これが真上から見たとんがり橋脚の水切りだ。この角度が水の抵抗をやわらげる役目をする。三原城の水はねにも似ている。